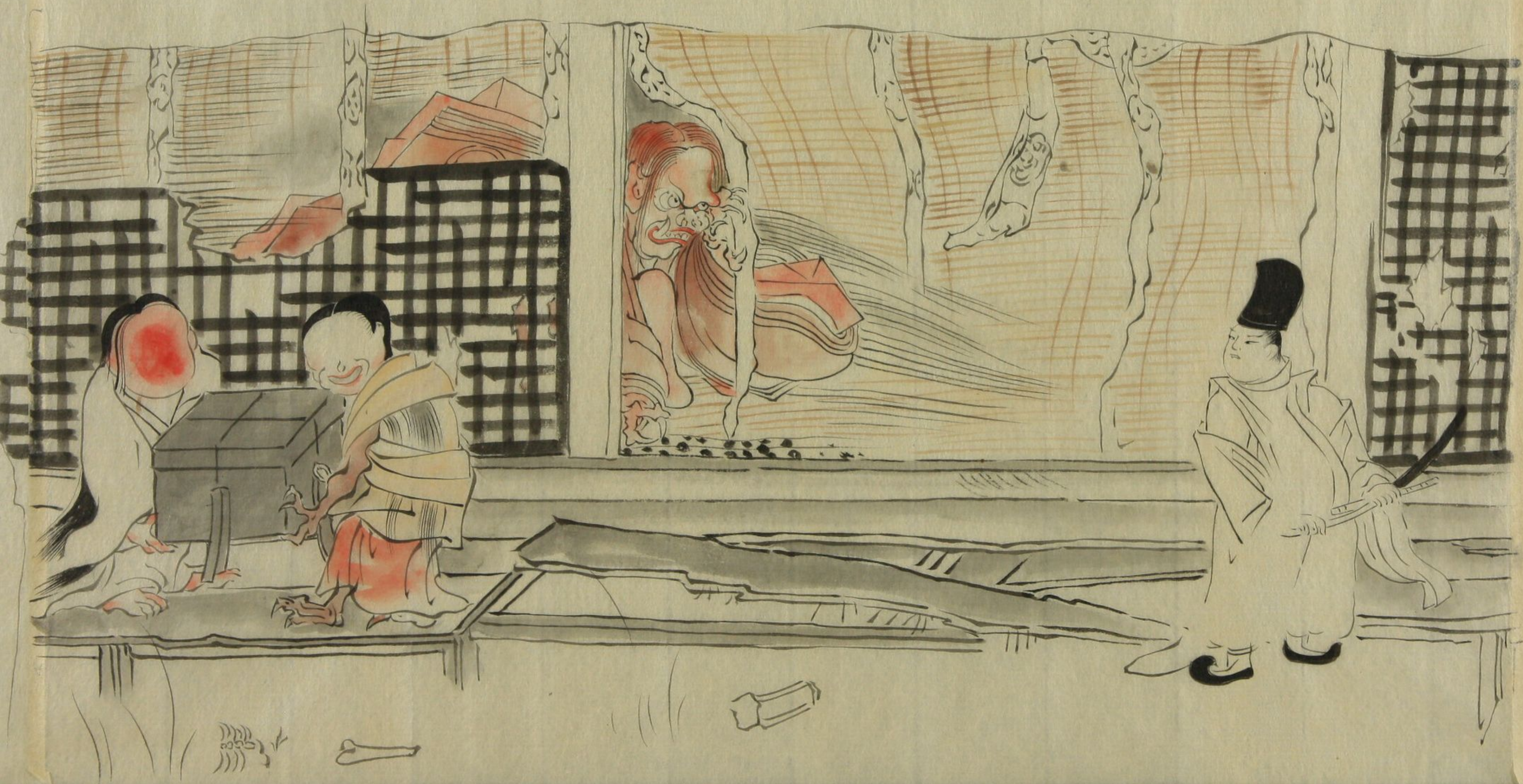


むらきひらの京五茶ほりあそびのわらわのま
 いふのあれきりありねよあむよをいふは
 きてひともおきてひさくはりきりあ善



京都府立総合資料館蔵





Emphatic Statement

焔麻鬼王此宮殿所の座アムシ七寤アムシをカ
 けりとも毎日おぼつる大火たるとはけ
 ほろひて灰燼となりぬ大王けしりよむせむ
 て今も婦女ほろひのやよむとらりてかた
 じろれその鬼道の苦患なり





焔魔王衆鬼の如きはれてあのうらむえ
 ついでに毎にいさむらてついでに
 獄卒ひとりたるみおきつて大玉をい
 て宮殿のまららえいさしてあの庭
 にならまればあらあめそらして就いぬ
 せらぬいさめいさのいさあつて平を
 めてらぬあつてあみてわらぬあつて
 しめられおそらつてあつてあつて
 しみよいさつてあつてあつて
 そのとき大玉を藏くものあつてあつて
 水をあつてあつてあつてあつて
 の苦慮なり

水を...
の苦慮なり



嘉永元戌申初冬比於京師金閨画更繪而
宇純摹之

化物草紙



1598

